



松江体育協会 90年の足跡

大正13年5月から現在まで

## 大正13年

(1924年)

- 5.1 松江市体育協会発足  
会長 高橋義比(市長)  
副会長 古井善之助、高梨秀善  
体協会章決定  
常務理事園山重之考案による青色Mと赤色Aを組合せた「M」を採用、現在に至る。
- 5.25～5.26 第12回山陰オリンピック大会開催  
津田晴一郎(松中)10哩出場

### [内外の動き]

- 1.26 今上天皇、皇后陛下御成婚  
1.26 島根県体育協会創立

## 大正15年

(1926年)

### [内外の動き]

- 12.25 大正天皇崩御される。

## 昭和2年

(1927年)

- . - 大正天皇の崩御、諒闇のため山陰オリンピック大会中止。

### [内外の動き]

- 12.29 白濁大火、15mの西風で灘町、天神町、寺町、焼失236戸、12,800㎡を焼く。

## 昭和3年

(1928年)

- 6.9～10 末次埋立地最後の第15回全山陰陸上競技選手権大会(今回より名称変更)開催。
- 12.24 総合運動場の工事着工

### [内外の動き]

- 7.1 松江城山を城山公園と名づける。

## 昭和4年

(1929年)

- 9.20 昭和運動場竣工  
総面積17,713坪、フィールド2,889坪、トラック400m×10m 1,163坪、外に200mの直線コース、その面積238坪、トラック外周道路3m617坪、メインスタンド土盛1,335坪(スタンド12段、田町更生会がつ

くり市は年賦償還)、観覧席平地(トラック周辺)1,836坪、附属地9,224坪、総工費55,949円。

### [内外の動き]

- 7.16 第1回松江水郷祭行わる。  
8.20 第4代松江市長に石倉俊寛就任。  
10.17 松江競馬場開場式(浜乃木)

## 昭和5年

(1930年)

- 12.12 昭和運動場を乙種競技場として日本陸連公認  
12. - 忌部スキー場開場

### [内外の動き]

- 4.1 松江市営ガス開業

## 昭和6年

(1931年)

- 5.27 第1回体操祭が県下一斉に行われ、松江市では、昭和運動場に800名が参加。  
9.19 島根県中等学校体育大会はじまる。

### [内外の動き]

- 5.16 東本町ほか6町大火、628戸焼失、焼跡の土で競技場の周りスタンドをつくる。

## 昭和7年

(1932年)

6. - 宍道湖一周継走大会(4区56km)を実施  
昭和13年の7回まで続き、現在の駅伝競走のはじまり。  
7.17 松江野球場竣工  
面積5,150坪、内野27.27m、四方面積225坪、外野南北131m、東西平均90m、スタンド854坪。その他通路等、設置費34,500円。

### [内外の動き]

- 3.7 床几山にNHK松江放送局開局(JOTK)ラジオ体操が普及しだす。

## 昭和8年

(1933年)

### [内外の動き]

- 10.29 岸清一博士歿す。

## 昭和9年

(1934年)

5.26~27 松江体協創立10周年記念第21回全山陰陸上競技選手権大会(女子選手出場で賑う)

## [内外の動き]

4.30 松江市公会堂竣工  
11.10 新大橋2代目開通  
総工費36万円。

## 昭和11年

(1936年)

1.- 日本陸連の臨時総会において、山陰陸上競技協会(昭和9年創立)が正式に承認され、従来松江体協がもっていた山陰地方の代表権をこの協会に譲渡した。事務局は従来通り松江体協に置いた。

## 昭和12年

(1937年)

## [内外の動き]

4.14 中原大火252戸全焼。  
6.12 松江市役所を松江支庁に改称。  
10.18 松江大橋竣工

## 昭和13年

(1938年)

## [内外の動き]

8.18 県立松江高女全焼  
11.- 楽山公園松平家より松江市に寄贈。

## 昭和14年

(1939年)

10.31 岸運動場松江市に寄付さる。  
工事費凡そ2万円、勤労奉仕者延人員4千余名、昭和14年6月1日起工、同年10月31日完成。

## 昭和15年

(1940年)

4.20 岸運動場開場式(床几山)

## 昭和17年

(1942年)

4.8 日本国内のスポーツは、国民体育錬成の元締めとして、大日本体育会に統轄され、陸上競技連盟は陸上戦技部として体育会に所属し、松江体育協会は大日本体育会松江支部となる。

## 昭和19年

(1944年)

4.24 松江体育協会解散  
大日本体育会島根県支部の結成に伴い、松江体育協会も県支部につながる松江支部となる。

## 昭和20年

(1945年)

3.- 松江運動場軍管理工場用地となり、スタンドのこわし始まる。  
(走路圏は山根正元主事の手により壊さないよう守ったため戦後復興に役立った。)  
12.24 松江体育協会再建発起人大会  
白濁小学校音楽室に約40人のスポーツ愛好者が集まり開催

## 昭和21年

(1946年)

1.- 松江体育協会結成式  
1.- 松江体協結成と同時に松江運動場の再建期成同盟会をつくり、強力に復興運動を興す。

## 昭和24年

(1949年)

4.30 二の丸庭球コート2面完成(面積800坪)  
-. 椿谷コート2面をつくり、第1回中国五県バレーボール大会を開く。  
7.1 松江野球場大改修工事終る。  
戦時中スタンド全部取払い県のグライダー滑空練習場となり、球場として使用が出来なくなっていた。  
本塁中堅367呎、左右翼304呎、本塁バックネット間60呎、スタンド収容人員15,000人

## [内外の動き]

8.15 白濁大火  
11.8 仮市庁舎完工、公会堂旧に復す。

## 昭和25年

(1950年)

- 6.1 末次埋立地プールが老朽化したため代って白潟プール竣工。  
面積5,207㎡、長さ50m、巾20m、9コース、深さ1.2m～2m、収容人員500人の木造観覧席
- 10.- 樺谷コート拡張工事(バレーボールコート4面増)始まる。

### [内外の動き]

- 5.30 末次埋立地のプールを撤去し、跡地に松江競輪場を設置、第1回競輪を実施。

## 昭和26年

(1951年)

- 4.23 岸記念運動場改修工事
- 7.31 樺谷球技場改修工事完成  
バレーコート6面、周りに木製スタンド設置
- 6.- 城山武徳殿弓道射場を復旧建設

### [内外の動き]

- 3.1 松江市が国際文化観光都市の指定を受ける。

## 昭和27年

(1952年)

### [内外の動き]

- 11.1 松江市教育委員会発足  
教育長 金山 千

## 昭和28年

(1953年)

- 5.23～24 体協創立30周年記念第37回全山陰陸上競技大会開催

### [内外の動き]

- 2.- NHKテレビ 枕木山放送開始
- 9.29 松江競輪場撤去(末次公園)

## 昭和32年

(1957年)

- 9.11 総合運動場建設期成同盟会発足  
既設の運動場の改修整備を行い、第2の運動場建設を促進する。

## 昭和33年

(1958年)

- 7.10 松江市教育委員会に体育課新設  
課長 和田 正則
- 8.17 松江有料道路の完工を機に、全国規模の玉造毎日マラソンを創設。

## 昭和37年

(1962年)

- .- 白潟体育館建設工事着工  
鉄筋、鉄骨2階づくり 延200坪

### [内外の動き]

- 6.1 市庁舎竣工(教育委員会〔体協事務局同居〕も興雲閣から移転)  
市機構改革 出張所を廃止
- 10.25 市立白潟小学校改築竣工

## 昭和38年

(1963年)

- 1.27 松江市スポーツ少年団本部設置  
本部長 松江市教育長
- 5.18 松江市立体育館竣工(白潟小体育館)  
バスケットコート1面、バレーボールコート2面、バドミントンコート6面、柔道畳止枠 50畳2組、体操用具一式、2階正面固定席200脚(5段)、両側折たたみ椅子240脚、1階折たたみ椅子1,200脚 計1,640席

## 昭和39年

(1964年)

- 5.9～10 第48回全山陰陸上競技大会  
松江体協創立40周年にあたり23氏に感謝状贈呈
- 9.23 第18回東京オリンピック大会  
聖火歓迎第15回松江中学校陸上競技大会開催、競技場に聖火燃ゆ。聖火松江に2泊
- 9.30 岸 清一博士銅像復元除幕式  
国際オリンピック委員会会長ブランデー氏参列

### [内外の動き]

- 10.10～24 第18回東京オリンピック開幕  
金メダル受賞
- |       |   |       |   |
|-------|---|-------|---|
| 体操    | 5 | ボクシング | 1 |
| レスリング | 5 | 女子バレー | 1 |
| 柔道    | 3 | 重量あげ  | 1 |

## 昭和40年

(1965年)

- 3.11 体協組織の改正  
従来の部制を廃し、種目別競技団体を独立加盟とする改革で、加盟団体24団体となる。
- 4.1 体育課を廃し、社会教育課に統合。  
課長 和田正則
- 5.21 岸記念賞をつくる  
岸博士銅像復元事業期成同盟会で募金の一部をもって岸記念賞(木の楯にブロンズ像をはめる)40個をつくり市体協へ15個交付され、市は加盟団体の推薦により表彰することとした。

## 昭和42年

(1967年)

- 史跡松江城環境整備事業により椿谷コートは廃止し公園となる。

## [内外の動き]

1. — 市立女子高西尾町に新校舎完工、移転

## 昭和43年

(1968年)

- 1.15 第1回体協新年賀会  
レークガーデンにおいて開催、以後恒例となる。
5. — 松江陸上競技場二種公認工事完工

## 昭和45年

(1970年)

- 8.26 体協改組委員会を開き、12月15日に新規約制定
12. — 史跡松江城整備事業により、二の丸テニスコート廃止にきまる。

## 昭和46年

(1971年)

- 2.2 新規約により理事長に和田正則就任。
5. — 日本陸連青木伴治理事長上乃木運動公園予定地を視察
- 8.20 市教育委員会事務局に体育課を復活

## [内外の動き]

- 2.3 豪雪

## 昭和47年

(1972年)

- 1.15 松江体協会報創刊号刊行

## [内外の動き]

- 7.1 宍道湖大橋開通(有料橋)
- 7.11 80年振りの大洪水

## 昭和48年

(1973年)

- 4.24 理事長に桂隆義就任、和田正則副会長に就任
- 5.18~19 体協創立50周年記念第57回全山陰陸上競技大会  
沢木啓祐、新谷誠規ほか10名の招待選手を迎え、盛大に開催  
50周年記念表彰として石倉俊寛ほか48氏故人福岡重徳ほか9氏を表彰
- 11.3 体協創立50周年記念事業として、松江郷土館に郷土のスポーツ人、顕彰展を行う。

## [内外の動き]

- 11.27 松江市総合体育館建設事業費募金委員会発足  
目標額 11億9千700万円(総事業費)

## 昭和49年

(1974年)

- 4.13 白濁小学校校庭に湖上ライオンズクラブの提供(資金250万円)を得て夜間照明施設完成し点灯式。
- 5.8 島根県第37回国民体育大会準備委員会設立
6. — 城山二の丸テニスコート撤去さる。
- 8.17~18 第1回松江・宝塚姉妹都市スポーツ少年団交歓会(松江市)
- 11.3~4 松江球場さようなら行事、市内中学校3試合、市内高校3試合、市体協加盟会員3試合、市議対体協OB戦を行うほか功労者表彰、お別れパーティーを開く。

## 昭和51年

(1976年)

- 3.6 楽山公園仮設野球場開き
- 4.3 松江市総合体育館開館
- 5.14~16 第60回記念全山陰陸上競技大会
- 11.6 松江市総合体育館2期工事として、屋内プール(温水プール)竣工
- 11.28 体育館竣工記念 モントリオールオリン

# 松江体育協会90年の足跡

ピック帰朝体操実演会

## [内外の動き]

4.1 財団法人松江市教育文化振興事業団発足

## 昭和52年

(1977年)

- 4.13 松江市地域体協連合会結成  
会長 角 吉郎(19地域)
- 10.10 さようなら陸上競技場、第12回松江市民体育祭を開催、競技場建設に功労のあった故高橋節雄氏、故石倉俊寛氏並びに松江体育協会に市長より感謝状と記念品を贈る。
- 12.21 総合体育館正面にあすなろ像建立除幕式を行う。  
ブロンズ像 日展入選作品を荒木文夫氏寄贈(体育館に保管)  
台座、台石 前畑勝太郎氏(前畑産業)

## 昭和53年

(1978年)

- 3.27 松江市議会において、松江市スポーツ都市宣言を制定。
- 3.30 松江総合運動公園市営陸上補助競技場竣工第3種公認陸上競技場に認定される。  
総面積 18,550㎡  
グラウンド15,180㎡、スタンド2,675㎡、その他695㎡  
トラック 400m6コース シンダー舗装  
140m8コース  
2コース 全天候  
フィールド 走高跳1、走巾跳2、三段跳2、棒高跳1、やり投1、円盤投1、ハンマー投1、サッカー1を設備。
- 工 費 9千2百万円
- 9.1 松江市総合運動公園市営野球場竣工  
敷地面積 24,400㎡  
構造 銀傘付鉄筋コンクリート造3階建(スタンド形式)  
規模 グラウンド両翼92m、中堅線120m、本塁後方23.5m  
面積 グラウンド13,830㎡  
(内野3,895㎡、外野9,935㎡)  
建物面積(メインスタンド)1,294㎡、スタンド敷地、内野、外野スタンド8,833㎡、その他443㎡  
収容人員 メインスタンド1,900人  
内野3,900人  
外野スタンド9,200人  
計 15,000人  
付帯施設 ダッグアウト2、本部、審判員室、選手控室2、電光掲示板、バッティング

ゲージ等完備。

- 9.22~24 市営補助競技場竣工記念第62回全山陰陸上競技大会開催
- 11.10 県体協活動募金4,505,000円を完納する。  
松江市総合体育館建設募金と合せて、体協関係で募金活動、3ヵ年間で募金完了。  
体育館分として松江市募金委員会に500万円を納入。

## [内外の動き]

- 10.15 松江市スポーツ都市宣言の公示式  
体育の日の市民体育祭において発表を計画していたが、当日及び予備の15日も雨のため実施できず、庁舎内で挙行、記念して地域体協功労者20人を表彰する。  
(公布日は10月10日)

## 昭和54年

(1979年)

- 1.15 スポーツ人新年総会。  
1時30分からレークガーデンにおいて、360名のスポーツ人が参集総会を開く。  
宣言決議  
1. 松江体育協会の法人化  
2. 顕彰事業 陸上競技場、野球場跡記念碑建立、史誌編さん、島根国体を通じ、岸博士はじめ郷土出身有名スポーツ人の表彰。  
3. スポーツ施設の整備充実の促進。島根国体に向けて力強く第一歩をふみだした。
- 4.10 財団法人松江体育協会設立発起人会並びに第1回評議員会を開催。  
(1)寄附行為の審議  
(2)役員を選任、専務理事の互選  
(3)法人設立への移行措置

## 昭和55年

(1980年)

- 5.30 松江市総合運動公園市営庭球場完工  
敷地面積8,400㎡  
構造 ハウス 鉄骨モルタル造り2階建  
100㎡  
コート 8面(4面宛、2施設) 5,520㎡  
練習コート、版面練習版つき  
420㎡  
スタンド 芝、一部コンクリート舗装  
2,260㎡  
付帯施設 クラブハウス(更衣室、トイレ、シャワー、ロビー)

## [内外の動き]

- 7.15 和田専務退任、河原専務理事就任。
- 10.10 第15回記念市民体育祭

## 昭和56年

(1981年)

- 3.2 体協事務室を庁舎別棟3Fに移転独立。  
3.31 松江市営陸上競技場竣工(メイン競技場)  
敷地面積 36,274㎡  
メインスタンド 鉄筋コンクリート造り  
1部3階  
種別 第1種公認陸上競技場  
面積 グランド 22,506㎡  
建物 3,140㎡  
芝スタンド 10,628㎡  
収容人員 24,000人  
メインスタンド 一般席5,000人  
芝スタンド 19,000人  
競技施設  
1周400m 8コース(直走路部分141m)  
その他附帯施設  
工費 10億5千万円  
5.1~3 くにびき国体主会場竣工記念第65回全山  
陰陸上競技大会。  
5.18 くにびき国体炬火リレー委員会結成  
5.28 場内レクリエーション委員会  
6.13~14 くにびき国体 陸上競技 リハーサル大  
会(メイン競技場)  
9.23 くにびき国体 1年前総決起大会(松江市  
実行委員会主催)に参加。  
10.10 松江市営陸上競技場竣工記念第16回松江  
市民体育大会を盛大に行う。

## [内外の動き]

- 4.1 B&G松江海洋センター開設  
敷地面積 19,651㎡、カッター、OPディン  
ギー、1.2Fヨット、体育館

## 昭和57年

(1982年)

- 1.15 天皇杯をめざした1,200名の総決起大会。  
松江市総合体育館の大体育室の四周を紅  
白で飾った会場に、“さあ天皇杯をめざし  
総力を結集して頑張ろう”のスローガン  
のもとに、特別来賓としての津田晴一郎、  
吉岡隆徳の先輩並びに斎藤名誉会長の激  
励を受け、競技種目団体代表の力強い決  
意表明、国体を必ず成功させようの宣言  
決議を採択、木原光知子講師から励まし  
の講演を聴き、くにびき国体を勝ち抜く  
ことを誓った。  
3.14 第1回健康ひろば(国体演技)の第1回練習  
会(市営陸上競技場)  
5.28 第37回くにびき国体松江市実行委員会  
発足  
7.4 松江市炬火リレーリハーサルの実施  
7.22 松江市炬火リレー採火式、休憩地(雑賀  
小、県民会館前)、引継式(鹿島町)リハー  
サル。

- 8.10 郷土スポーツ人顕彰展開催  
8.28 健康ひろばの第5回練習会に吉岡隆徳氏  
を迎え全員が揃っての練習会。  
9.12 岸博士墓前祭  
県立プールでの夏季国体開会式の閉式を  
待って、寺町久成寺において岸清一博士  
の墓前祭を行なう。  
日体協から山口国体委員長、深川事務局  
次長をはじめ、県体協、市議会議長、市教  
育長、本会会長以下多数参列、読経、焼香  
を行ない、道徳を偲ぶ。  
9.23 くにびき国体集団演技総合練習会(国体  
会場)  
9.26 第37回くにびき国体模擬国体  
9.27 第37回くにびき国体炬火リレー  
10.2 くにびき国体炬火集火式  
10.3~8 第37回国民体育大会(くにびき国体)開  
会式  
10.8 第37回国民体育大会閉会式  
10.8 くにびき国体優勝祝賀パレード  
10.16 第18回全国身体障害者スポーツ大会開  
会式  
10.17 第18回全国身体障害者スポーツ大会閉会  
式  
11.16 郷土スポーツ顕彰展開閉。

## 昭和58年

(1983年)

- 1.15 鉄工会館において新年総会 参加325名  
3.20 第1回松江市地域スポーツ振興交換研修  
会を、松江市地域体協連合会と共催で実  
施。4分科会(参加105名)

## 昭和59年

(1984年)

- 3.18 松江市地域スポーツ振興交換研修会(青  
年センター)  
21地域体協より165名が参加し、5分科会  
に分れ各体協より実情発表、研究協議。  
4.27 創立60周年記念誌編纂委員会(第1回打  
合会)

## 昭和60年

(1985年)

- 1.15 松江体協創立60周年記念新年総会  
記念功労表彰(4名)、記念講演(津田晴一  
郎氏)  
3.30 南工場プール開館式  
4.4~5 松江体協事務局を総合体育館に移転。

## 昭和61年

(1986年)

- 1.15 松江体協新年総会特別講演(青田 昇氏)
- 7.27 松江陸上競技教室開校式

## 昭和62年

(1987年)

- 1.26 松江体協バドミントン講習会(総合体育館、婦人50名参加)

## 昭和63年

(1988年)

- 5.7 松江地区レスリング協会設立総会(むらくも会館)
- 7.29~30 松江体協サッカー講習会(乃木小学校)
- 8.20 第1回山陰レスリング大会(県立武道館)

## 平成元年

(1989年)

- 1.14 松江体協新年総会  
松江体協財団法人発足10周年記念特別表彰(14名)
- 8.18~26 全国中学校選抜体育大会(陸上、柔道、卓球)
- 9.10 第1回鳥根県スポーツレクリエーション祭
- 10.21 松江地区ウエイトリフティング協会設立総会
- 12.21 第1回評議員会において、新会長に石倉孝昭氏、前会長中村芳二郎氏を顧問に推挙。

## 平成2年

(1990年)

- 3.31 松江市北庭球場、松江市北運動広場竣工
- 4.30 松江スイミングスクール開校10周年記念式典(ホテル一畑)
- 9.22 ターゲットバードゴルフ協会設立総会
- 9.29 グランドゴルフ協会設立総会
- 11.17 第1回グランドゴルフ大会(松江北公園)
- 12.21 斎藤強賞創設

## 平成3年

(1991年)

- 1.15 松江体協新年総会特別講演(柴田 勲氏)
- 2.17 第1回松江ウエイトリフティング競技大会(松江西高校)
- 2.27 南工場プール管理棟竣工式。
- 5.12 第1回松江市ベタング大会(市北運動広場)

## 平成4年

(1992年)

- 1.15 第1回斎藤強賞表彰。
- 4.1 松江市スポーツ振興基金創設。
- 7.23~25 全国少年レスリング大会(市総合体育館)
- 10.17~20 第5回全国スポーツレクリエーション祭
- 10.18 松江市民スポレクデー(市総合運動公園他)
- 11.19 スポーツ健康大学創設準備委員会(市生涯学習センター)

## 平成5年

(1993年)

- 3.28 松江体協事務局を市生涯学習センターに移転
- 4.1 松江スポーツ健康大学創設
- 8.1 くにびきメッセ竣工記念早慶レガッタ(松江大橋川)
- 8.27 松江市生涯スポーツ推進協議会設立総会(ホテル白鳥)
- 12.17 評議員会において、新会長に宮岡寿雄氏、前会長石倉孝昭氏を顧問に推挙。

## 平成6年

(1994年)

- 4.13 松江体協創立70周年記念事業実行委員会(県婦人会館)
- 8.1 松江体協創立70周年記念事業協議会(事務局)

## 平成7年

(1995年)

- 1.16 松江体協創立70周年記念新年総会

(ホテル一畑)  
70周年記念特別表彰(2名)、記念表彰  
(4名)、記念講演(生沼スミエ氏・横溝  
三郎氏)

- 2.7 松江体協創立70周年特別事業打合せ  
会(事務局)
- 7.31~8.6 全国高校総合体育大会(バドミント  
ン、バレーボール男子)
- 9.4 松江体育協会が、日本陸上競技連盟  
70周年特別表彰式において普及功労  
表彰(東京)

## 平成8年 (1996年)

- 4.9 松江体協事務局を市役所に移転。

## 平成9年 (1997年)

- 6.7 第80回全山陰陸上競技大会記念式典。

## 平成10年 (1998年)

- 4.1 (財)松江体育協会業務を、(財)松江市教  
育文化振興事業団へ移管。
- 4.7 松江体協事務局を市総合体育館に  
移転。

## 平成11年 (1999年)

- 4.27 道の駅秋鹿なぎさ公園竣工
- 7.20 北公園ミニ遊園地開園
- 10.10 松江市制施行110周年記念第27回市  
民体育祭。

## 平成12年 (2000年)

- 9.28 評議員会において、新会長に松浦正  
敬氏を推挙。

## 平成13年 (2001年)

- 8.17~20 全国中学校バスケットボール大会  
(市総合体育館他)松江市立湖東中学  
校(男子)が初優勝。

## 平成14年 (2002年)

- 4.1 (財)松江体育協会情報公開規則・文書  
取扱規則の制定。

## 平成15年 (2003年)

- 6.25 松江体協創立80周年記念事業検討委  
員会(市総合体育館)

## 平成16年 (2004年)

- 8.1~20 全国高校総合体育大会(バスケット  
ボール、卓球、ソフトテニス、水泳)
- 8.4~10.11 松江体協創立80周年および全国高校  
総合体育大会開催記念「伝統と栄光  
のスポーツ展」(松江郷土館)
- 10.17 松江体協創立80周年記念「まつえ  
サッカーフェスタ2004」(講師・松木  
安太郎氏)
- 12.10 松江体協創立80周年記念誌「20年の  
あゆみ」発刊

## 平成17年 (2005年)

- 1.16 松江体育協会創立80周年記念総会。  
記念表彰(10名)記念講演(中京大学  
教授・室伏重信氏)
- 2.16 松江体育協会創立80周年記念事業検  
討委員会開催。
- 3.9 南工場プール担当理事会開催。
- 3.31 松江市、八東郡7町村と合併。

## 平成18年 (2006年)

- 1.14 松江体育協会新年総会。松江テニ  
ス協会 錦織 圭選手 特別功労賞  
受賞
- 7.26~8.25 スポーツ教室事業実施「夏休み小学  
生バスケットボール教室(54名)10回  
実施」
- 8.1 情報提供事業実施「ホームページ開  
設」松江体協に関する情報発信を  
開始。
- 10.8 新松江市合併記念市民体育祭種目  
別対抗リレーに加盟団体12チーム  
参加。

## 平成19年

(2007年)

- 7.23～8.17 夏休み小学生スポーツ教室実施(10回・20名)
- 11.26～12.3 実践スポーツトレーナー講習実施。(計3回)

## 平成20年

(2008年)

- 3.5 総務企画委員会開催。錦織圭選手の活躍の対応について協議した。
- 3.14～4.14 錦織圭選手を応援する懸垂幕を松江市庁舎正面玄関前に設置。設置セレモニー実施。
- 7.22～8.11 夏休み子どもスポーツ教室実施(10回・26名)
- 11.25～28 実践スポーツトレーナー講習実施(計3回)

## 平成21年

(2009年)

- 1.19 役員会開催。宣言決議について協議。
- 7.24～8.7 夏休み子どもスポーツ教室実施(10回・22名)
- 11.24～30 実践スポーツトレーナー講習実施(計3回)

## 平成22年

(2010年)

- 7.20～8.4 夏休み子どもスポーツ教室(10回・16名)
- 8.19～22 全国中学校柔道大会(松江市総合体育館)
- 9.13 松江体協事務局を市役所に移転。
- 9.24 松江法務局へ変更登記申請書を提出。
- 11.22・25・29 実践スポーツトレーナー講習開催(計3回)

## 平成23年

(2011年)

- 6.1 新年総会に関するアンケート調査実施。
- 8.1 松江市、八東郡東出雲町と合併。
- 10.2 松江開府400年博覧会「特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」(松江北公園)
- 11.10 中央講師招聘事業「転倒防止のコツ伝授講習会」開催。

- 11.21～28 実践スポーツトレーナー講習開催(計3回)

## 平成24年

(2012年)

- 7.13～15 浙江国際伝統武術大会派遣事業(中国)松江太極拳協会
- 9.10 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会東京招致に向けた支援決議
- 10.17～11.14 実践スポーツトレーナー講習会実施(計5回)

## 平成25年

(2013年)

- 1.4 浦和レッズ所属藤田のぞみ選手(サッカー)市長表敬
- 3.17～10.14 サポートチーム派遣事業実施(計6回)
- 3.21 公益財団法人設立認可。
- 3.29 市教育委員会主催「スポーツ指導者研修会」講師:眞藤邦彦氏(日本サッカー協会)
- 4.1 公益財団法人登記
- 4.4 姉妹都市にかかる二市体育協会の交流会(尾道市体育協会・松江体育協会)
- 5.27 松江体協事務所移転。(市第四別館から市第三別館)
- 7.26 総務企画委員会開催。体協創立90周年記念事業について、90周年記念ポロシャツの作成について。
- 9.11 90周年記念事業準備委員会開催。

## 平成26年

(2014年)

- 創立90周年記念実行委員会開催(5月～3月計5回)
- 3.15～7.27 サポートチーム派遣事業実施(計5回)
- 9.9 錦織圭選手全米オープンテニス準優勝。
- 11.5 松江市スポーツ指導者講習会「スポーツ指導者のための倫理ガイドライン」開催  
講師 岡達生氏 (公財)日本体育協会 スポーツ指導者育成部長